

1989年2月

ゴールドウイング (GL1500) は画期的なモデルだっただけに、生産2年目でもほとんど変更を必要としませんでした。電動リバースシステム、低重心の高剛性ダブルクレードルフレーム、前・後連動ブレーキ、小型コンプレッサー採用のエアサスペンション (後・右側)、ヒーター付きベンチレーション機構内蔵の大型インテグレートッド・フェアリング、集中ロックシステム付き大型トランク & サドルバック、クルーズコントロールシステム、電動ボリューム付き AM/FM チューナー付きカセットステレオなど大型ツーリングバイクならではの充実した装備を標準装備していました。車体色は新たにグレード感の高いダークブルーメタリックカラーを採用しました。

1990年2月

標準仕様のゴールドウイング (GL1500) が SE モデルとなり、ウインドスクリーン中央に、風量を三段階で調整できるベンチレーションシステム、冷寒時に排気管で暖められたホット・エアを足元に導くフット・ウォーマー機構、パッセンジャーの快適性を向上させる可動式 (上下方向で 60mm) ピリオン・ステップボード、夜間のスイッチ操作性を向上させる透過光式照明 (イルミネーション) 内蔵の各スイッチ類などを採用し、ハイグレードな装備がもたらす快適さを一段と向上させました。日本仕様としては、足着き性を向上させる低シート高 (770mm→755mm) や後方からの被視認性を向上させる発光ダイオード採用のハイマウント・ストップランプなどを標準装備としていました。



1990年 GOLDWING (GL1500) SE

1991年3月

前年からの大きな変更はなく、米国での生産10周年を記念してゴールドウイング SE 米国生産10周年記念車 (アニバーサリー・エディション) として登場。車体色のサンフラッシュ・ゴールドメタリックを基調に、落ちつきのあるブラウンを組み合わせたツートーンカラーを採用するなど、メタル感を強調した各部のクロームメッキ仕上げとあいまって記念車にふさわしく、威風堂々たるイメージをより強調したものとしました。



1990年 GOLDWING (GL1500) SE Anniversary Edition